

新規就農 適性・知識チェックシート

チェックシートの利用の仕方

このチェックシートは、農業で生計を立てることを前提として、新規就農に当たっての適性や知識、準備の進み具合を自分自身でチェックするものです。

□の中にチェックマークを入れてお確かめ下さい。なお、当てはまらない項目は、一般的に、これから就農を目指す場合に準備あるいは獲得が必要な項目であるものとお受け止め下さい。

1 就農に対する適性

- 健康・体力には自信がある。
- 生き物（動植物）が好きである。
- 単純作業もこつこつやることが出来る。
- 他人との付き合いは苦にはならない。
- オフィスの事務作業よりも野外で体を動かすことが好きだ。
- 忍耐力にはかなり自信がある。

2 新規就農についての意欲、動機、知識

- 農業所得で生活し、職業としての農業を目指している。
- 新規就農した経営者に会ったり、体験談を直接聞いたことがある。
- これまでに受けた農業体験や研修により、農作業の厳しさは身体で分かっている。
- 家族と一緒に生活や仕事がしたい。
- 農業は自然のなかで生き物を育てること。自然災害や技術不足のため、収穫が皆無の場合があることを知っている。
- 新たに農業を始めることは、経営者として新しく事業を起こし、経営者になることであり、非農家出身者が新たに農業を始めることは既存の生産基盤のある農家より容易でないことは分かっている。

3 新規就農の事前準備状況

- 新規就農に関する情報収集に力を入れている（相談窓口訪問、相談会参加、インターネットホームページ、情報誌等）。
- どんな作物を作るのか（作目選択）意向が固まっている。
- どこで農業をやるか（就農希望地）意向が固まっている。
(作目：) (適地：)
- 実際の就農までの準備事項および段取りは大筋理解している。
- 家族が就農に同意している。
- 自動車運転免許（普通免許以上）を所持している（ペーパードライバーを除く）。

4 就農条件の準備状況

- これまでに1年間以上にわたる農家、農業法人等での本格的研修を受けたことがあり（又は研修中）、目指す農業（作目）の技術と知識は身につけた。
- 就農希望地で、就農に当たって親身になって面倒を見てくれる世話役的な人がある。
- 農地を取得（購入又は借り入れ）するには法律（農地法等）にもとづいた許可と手続きが必要で、一定の要件をクリアすることが必要であることを知っている。
- 営農のために用意できる自己資金額は
 - 200万円以上 500万円未満 …………… 1/4ポイント
 - 500万円以上 1,000万円未満 …………… 2/4ポイント
 - 1,000万円以上 2,000万円未満 …………… 3/4ポイント
 - 2,000万円以上 …………… 4/4ポイント
- 営農資金が自己資金で足りず、融資制度を利用する場合、保証人になってくれる人が見込める。
- 経営についての一定の知識（複式簿記等）はある。
- 農産物の販売について自信がある（マーケティング関連業務経験、元の職場同僚・知人・友人等のネットワーク活用など）。

5 農村生活・就農後の生活について

- 営農資金の他に、当面の生活資金（1～2年程度）を用意している。
- 農業以外に本人や家族に収入を得る手だてがある。
- 農業をするには、住居がアパートなどでは難しいことを知っている。
- 農地と住居が離れていると作業が不便であることを知っている。
- 農村で生活する場合、地域とのコミュニケーションの重要性を知っている。
- 農業に関わる共同作業や地域での役割が求められることを知っている。

自身が当てはまるものをチェックし、1問を1ポイントとして換算し（4「■営農のために用意できる自己資金額は」を除く）、1～5の項目毎に、各項目の合計ポイントでレーダーチャートを記入して下さい。

